



学校だより

7月号



～友だちいっぱい 夢いっぱい 未来へ向かって かがやく星の子～



時間を大切に

校長 西山 久美子

異例の早さの梅雨明けとともに、一気に夏がやってきました。最高気温が6月としては観測史上最高の値が出たことや、電力需給のひっ迫注意報などの報道に驚かされる日々です。学校では、手洗いの徹底などの感染症対策も継続しながら、体育など屋外の活動ではマスクを外すこと、こまめに水分補給をすること、WBGT計を確認しながら外の活動を制限することなどの熱中症対策をしっかりと、子どもたちの健康観察を丁寧に行ってまいります。ご家庭でも、引き続きお子様の健康管理をよろしくお願いいたします。

さて、夏至が過ぎた今、朝は早くから日が昇り、昼の時間が長い季節になっています。同じ一日でも時間を得たように思うこともあります。先日の朝会では「時の記念日」について話をしました。なぜ6月10日が時の記念日になったのかということや、大昔は日時計や水時計、砂時計などを使って「時」を計っていたことなども伝えました。太陽の影や水の流れなどで「時」を計っていた時代は、きっとのんびりしていたのだろうなあと思いつつ、今では、正確に計れる時計のおかげで、だれもが同じ「時間」をもつことができるようになった便利さも感じています。

学校では、登校時刻・始業時刻・休み時間・給食時間など、チャイムの合図や教室の時計に合わせて生活しています。先日、廊下で会った子ども達と話をしていたら「時間だよ。」とクラスの子が友達に声をかけてくれました。すると「じゃあね。」と私に伝え、さっと教室に戻っていきました。お互いに声を掛け合って生活している光景を見るのは気持ちがいいなあと感じる瞬間です。子ども達には「時間を大切にすること」「時間を守ること」が大事であることを伝えています。同じ時間を過ごすなら、その時間にやるべきことに一生懸命に取り組むことが時間を大切にすることになりますし、限られた活動時間に自分の力を存分に発揮することが、時間の有効利用になるのだと考えます。もちろん、自分の心や体を休めるためにのんびりすることも大切な時間の過ごし方。子ども達にも、自分を豊かに成長させるための「自分の時間」を大切に過ごしてほしいと思います。しかしもう一方では、大勢で同じ「時」を過ごすときには、それは「みんなの時間」でもあります。時間を守るとは、相手の時間を大切にすること、そして相手の「人」を大切にすることに通じるのですね。自分の時間やみんなの時間を上手に使って、自分を大切に、人を大切にできる星の子になってほしいと思います。

水泳学習について

今年度は、感染症対策を講じたうえで水泳学習を実施することといたしました。しかし、今年の夏の異例の暑さにより熱中症指数が「危険（運動中止）」を示す日が続いております。熱中症警戒のためWBGT計の数値により水泳学習を中止する場合がありますのでご承知おきください。